

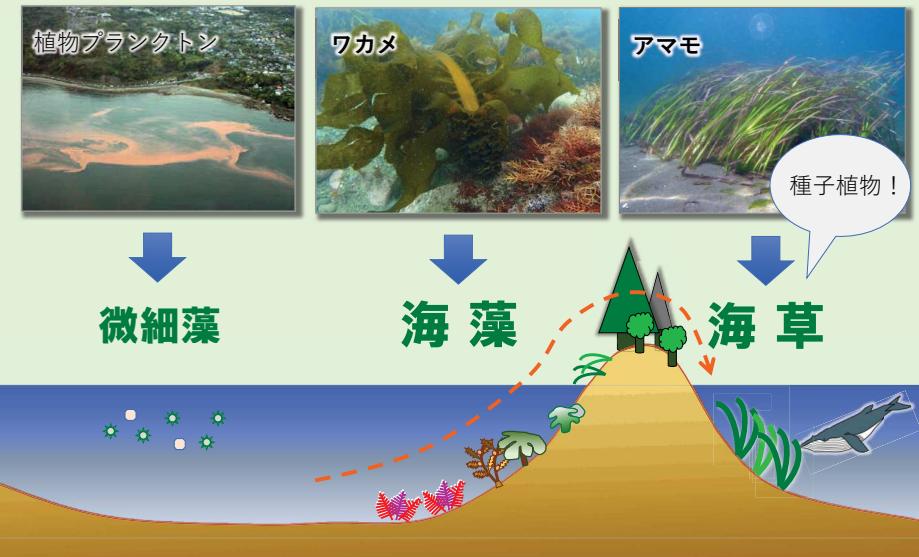
気候変動による水温上昇が 瀬戸内海の藻場・藻類養殖に 与える影響



島袋 寛盛

国立研究開発法人
水産研究・教育機構 水産技術研究所

海藻とは？藻場とは？



海藻とは？藻場とは？



海藻とは？藻場とは？

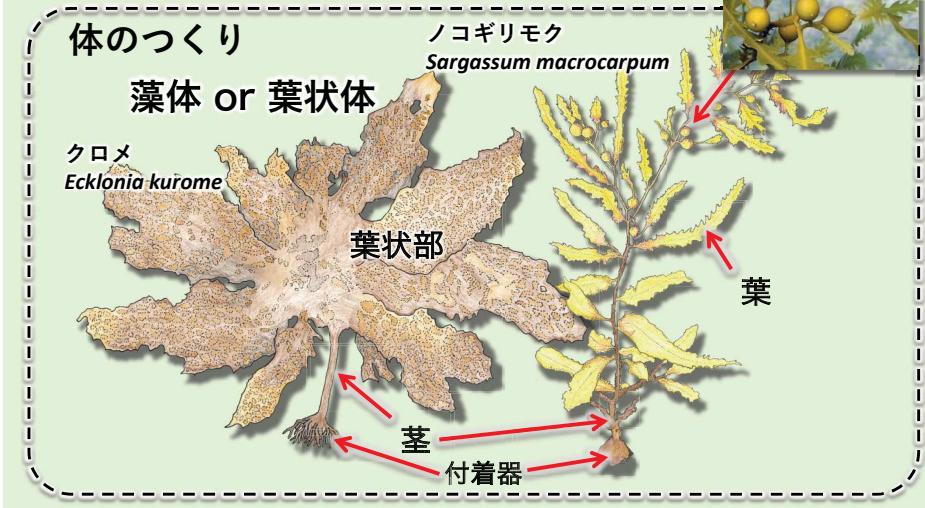


海藻は異なる生き物の集まり
“海藻”を考えることは難しくて面白い

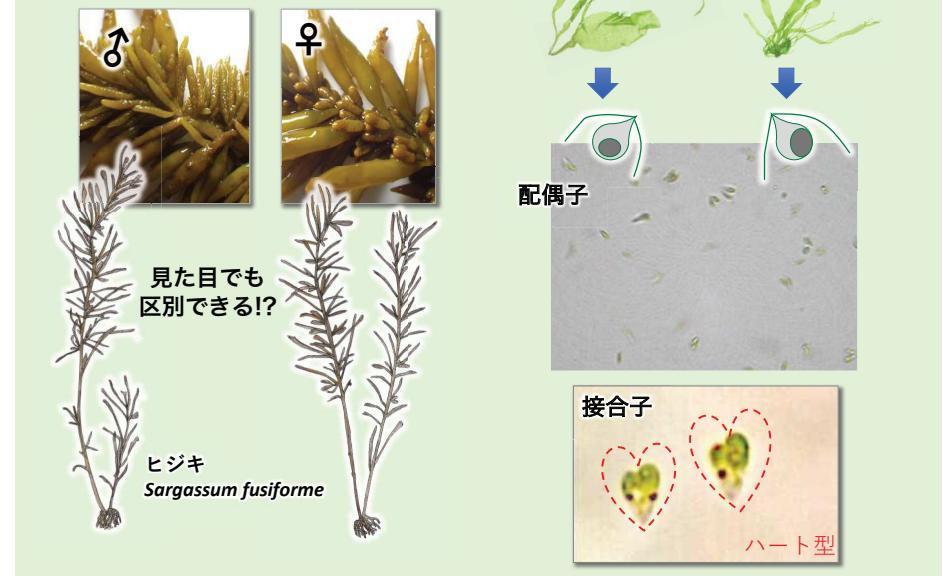
Adl et al.(2019)とBurki et al.(2020) ©M. Suzukiを改変

海藻とは！

- ・海に生育する可視的な藻類
- ・体は高度に分化せず単純
- ・“胞子”で増える（栄養的にも増える）
- ・オスとメスがある



海藻にも♂♀がある！？



藻場とは・・、

海藻は世界で約15,000種、
日本で約1,500種
瀬戸内海で300種

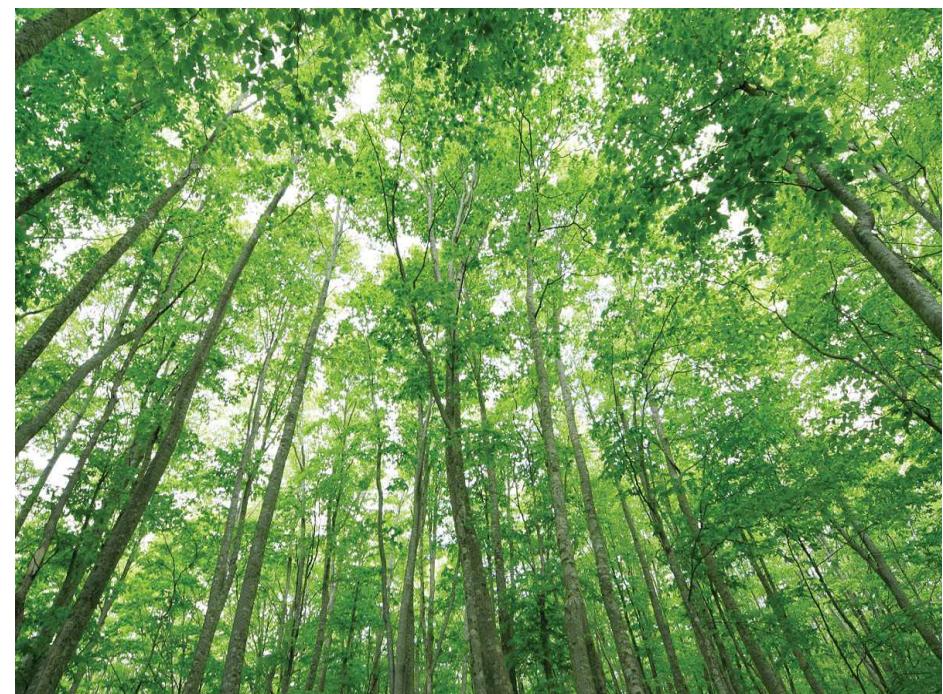
その中でも

本当に
海の中に
森があるの？



大型な海藻類の集まり

藻場 ≈ 海中林 ≈ 海の中の森





藻場の機能・価値とは？

木が集まれば森になる・・
森があれば動物が集まる・・
海藻も集まれば森になる・・
藻場は重要・・・

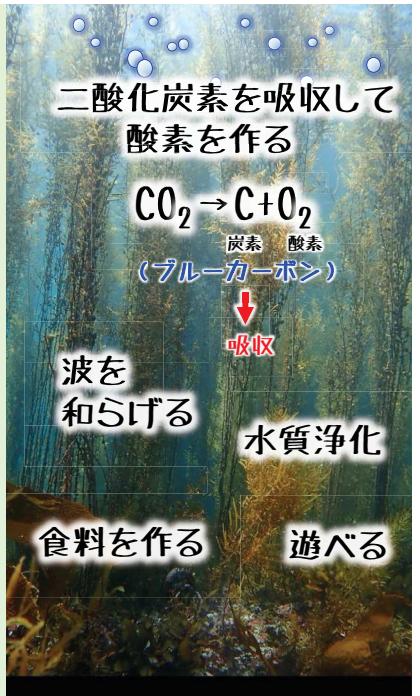
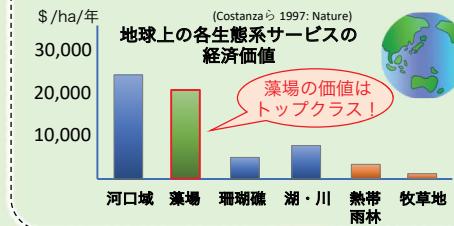
生態系サービス

基盤サービス

供給サービス

調整サービス

文化サービス



瀬戸内海の藻場面積

ホンダワラ類・アラメ・カジメ類
(ガラモ類)



これまでに
大きな変化はなかった
(最近減ってきた)

瀬戸内海の藻場面積

アマモ類



増えていた
(最近は急激に減少)

藻場のできるできないは 何で決まる？

水温

流動

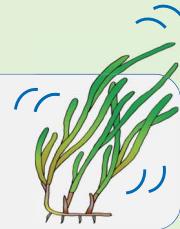


水温

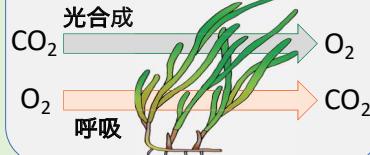
流動?



海藻・海草にとって
揺れるという動きはとても重要



海藻・海草も生き物なんだ！



種によって好適な流動に特異性がある



>



>



必死に揺れて海水交換！！

水温 流動

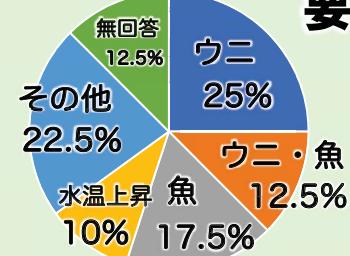
特に広島湾など瀬戸内海では堆積する浮泥を取り除くためにも
揺れるという動きはとても重要



水温

流動

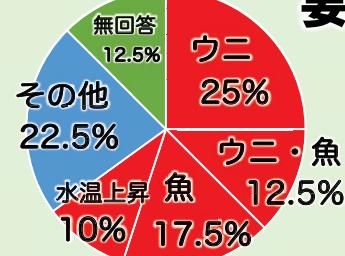
藻場がなくなる
要因



水温

流動

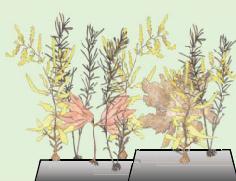
藻場がなくなる 要因



水温上昇による
影響が大きい

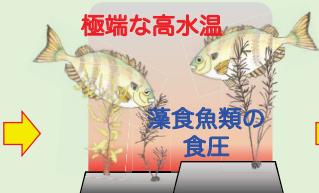
西日本の場合

藻場がある！



藻場が衰退する要因

極端な高水温



藻場がない状態が
維持される要因

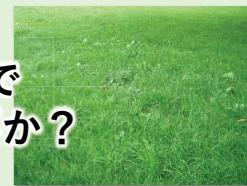
ウニの食圧



海に海藻(藻場)は必要か？



地球上で
植物は必要か？



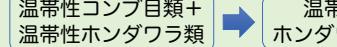
海の中でも
植物は必要！



水温上昇と藻場植生の変遷

北

温帯性コンブ目類+
温帯性ホンダワラ類



温帯性
ホンダワラ類

小型紅藻類
(マクサ)

亞熱帶性ホンダワラ類
磯焼け+サンゴ類

南



クロメ ノコギリモク ヤツマタモク



マクサ ヒイラギモク



アカウニ
ムラサキウニ類

現存する温帯性藻場も
今後の環境変化により
このように変遷していく？



ガングゼ



サンゴ類

海に海藻(藻場)は必要か？

植物（海藻）は地球上の生きものが生きていく上で
欠かせない存在！！

地球上の酸素の
半分以上は海から！



食料はすべて
植物から

【まとめ 1/3】

地球規模で生じる気候変動に対抗することは難しい…。

→モデルによる予測では、温室効果ガスの削減で藻場の減少を抑えられる

→それでも気候は変動する



藻場を保全する

藻場のコベネフィット

食糧生産・レクリエーションの機能



CO₂吸収源としての機能



ブルーカーボン

Co-benefit
ひとつの活動が様々な利益につながっていくこと

【まとめ 2/3】

養殖

緩和

ノリ・ワカメ

- 作業の効率化と期間の短縮
- 食害動物の徹底駆除
- 高温に耐性のある株の作出
- 有用性質を有する株の作出



教育



森やサンゴ礁は大切！！

食料としての海藻だけではなく
生きものとしての海藻
生態系としての藻場の教育も重要



藻場はCO₂吸収源と食料生産が同時に成立（トレードオフがない）、
淡水を使わずに食糧生産できる！ ⇒ これからの気候変動下においてかなり有利

【まとめ 3/3】

知ることが大切

国土地理院より



田中博・貞子氏
(広島県在住)

元宇品を中心におよそ50年間
(1954年～2004年) 打ち上げ海藻を採集



250種の海藻を報告



広島の海にも海藻の森が広がっている



広島の海藻
増補改訂版
1954年～2004年

ひろしまの海藻
増補改訂版
1954年～2004年

